

事務の管理及び執行状況 の点検・評価実施報告書

(令和5年度実績)



由利本荘市教育委員会キャラクター
「学ぶん」

令和6年11月

目 次

1	点検・評価の趣旨等	1
2	点検及び評価の概要	1
3	学識経験者の知見の活用	1
4	教育委員会の活動状況	2
	（１）会議の開催状況	
	（２）教育委員の活動状況	
	（３）計画の策定状況	
	（４）市民への情報提供の状況	
5	主要施策・事業等の実施状況と評価	9
 【学校教育部門】		
	（１）確かな学力の形成	9
 【社会教育部門】		
	（１）社会的課題に対応した教育・学習活動の推進	1 6
	（２）読書の大切さの啓発と読書活動の推進	2 1
 【教育環境整備部門】		
	（１）学校環境適正化の推進	2 3
	（２）学校施設の整備	2 7

1 点検・評価の趣旨等

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第26条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定に基づき、平成20年4月から、全ての自治体の教育委員会自らが、毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務づけられました。

由利本荘市教育委員会においては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、平成21年度（20年度実績）から事業の点検及び評価を実施し、報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表しております。

今年度においても、同法の趣旨を踏まえ、各教育分野の施策及び重点事業等の執行状況について点検及び評価を行い、今後、より効率的な教育行政の推進を図っていくものです。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条」で、教育委員会の職務権限とされている事務のほか、教育委員会で所管するすべての事務を対象としますが、点検・評価にあたっては、『由利本荘市の教育』に掲げる施策を5項目9事業に集約し、実施しております。

3 学識経験者の知見の活用

学識経験を有する者の知見の活用について、本市教育委員会では、由利本荘市社会教育委員の会副会長の柏原正人氏、由利本荘市PTA連合会会長の寺田裕樹氏にご意見をいただいております。

4. 教育委員会の活動状況

(1) 会議の開催状況

期日	付 議 案 件
R5. 4. 24 (協議会)	協 議 1. 本荘地域における学校再編について 2. 新型コロナウイルス感染症に係るガイドラインについて
R5. 4. 24 (定例会)	議案第10号 由利本荘市教育支援委員会委員の委嘱について 議案第11号 由利本荘市社会教育委員の委嘱について 議案第12号 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第13号 由利本荘市資料館協議会委員の委嘱について 議案第14号 由利本荘市民俗芸能伝承館運営協議会委員の委嘱について 議案第15号 由利本荘市図書館協議会委員の任命について 報 告 ①令和5年度学校環境適正化に向けた取組 ②市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ③市内小・中学校 長期休業日、学校行事等一覧 ④令和5年度「由利本荘市まちづくり宅配講座」メニューについて ⑤事業・行事等の報告及び予定事項
R5. 5. 8 (協議会)	協 議 1. 本荘地域における学校再編について
R5. 5. 30 (定例会)	報 告 ①主な工事の状況 ②小学校建設事業について ③教育委員学校訪問一覧 ④市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ⑤令和5年度「由利本荘市二十歳を祝う会」の開催について ⑥六郷氏・岩城氏・打越氏 入部400年記念事業について ⑦中央図書館への空中ディスプレイ装置の試験設置について ⑧マイナンバーカードでの図書館利用を可能とするシステムの導入について ⑨事業・行事等の報告及び予定事項
R5. 6. 7 (臨時会)	議案第16号 議会の議決に付すべき契約の締結について 議案第17号 議会の議決に付すべき契約の締結について
R5. 6. 29 (定例会)	議案第18号 本荘南中学校区統合小学校校名及び使用校舎について 議案第19号 本荘東中学校区統合小学校校名について 議案第20号 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について

	議案第 2 1 号 由利本荘市文化財保護審議会委員の任命について 報 告 ①本荘地域における学校再編について ②市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ③令和 5 年度「夏季教職員研修会」について ④ゆりほん I C T 子供の学びアップデートプランの進捗状況と予定について ⑤令和 5 年度「芸術鑑賞教室」について ⑥学校給食費未納一覧（令和 2 ～ 4 年度） ⑦事業・行事等の報告及び予定事項
R5. 6. 30 (臨時会)	報 告 ①由利本荘市教育委員会教育長職務代理者の指名について 議案第 2 2 号 由利本荘市教育委員会の議席指定について
R5. 7. 21 (定例会)	議案第 2 3 号 由利本荘市民俗芸能伝承館運営協議会委員の委嘱について 報 告 ①本荘地域学校再編に係る協議について ②市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ③六郷氏・岩城氏・打越氏入部 4 0 0 年記念特別展「六郷氏の足跡」について ④令和 5 年度「子供の読書活動優秀実践校」「子供の読書活動優秀実践図書館」文部科学大臣表彰について ⑤第 5 0 回鳥海獅子まつりについて ⑥事業・行事等の報告及び予定事項
R5. 8. 22 (臨時会)	議案第 2 4 号 令和 6 年度使用小学校教科用図書の採択について
R5. 8. 22 (定例会)	報 告 ①教育委員会関係 主な工事の状況 ②「ゆりほん I C T 子供の学びアップデートプラン」進捗状況について ③市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ④市内小・中学校の主な取組・功績等（4 月～7 月） ⑤指定管理施設事業報告（民俗芸能伝承館「まいーれ」） ⑥歴史を活用した地域活性化講演会 ⑦事業・行事等の報告及び予定事項
R5. 9. 28 (定例会)	報 告 ①本荘東小学校・鶴舞小学校 開校準備委員会について ②市内小・中学校 学級閉鎖・学年閉鎖状況（夏休み以降） ③市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ④部活動の地域移行に向けて

		⑤市内小・中学校 長期休業日、学校行事等一覧 ⑥市内小・中学校 東北大会・全国大会への出場について ⑦公民館での生涯学習事業の推進について ⑧六郷氏・岩城氏・打越氏 入部４００年記念事業について ⑨令和５年度芸術鑑賞教室 実施状況について ⑩事業・行事等の報告及び予定事項
R5. 10. 26 (定例会)	議案第２５号 報 告	由利本荘市学校給食共同調理場条例の一部改正について ①本荘東小学校建設事業について ②市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ③由利本荘市・箕面市中中学生交流事業について ④第１７回科学フェスティバルについて ⑤令和５年度「由利本荘市二十歳を祝う会」について ⑥令和５年度芸術鑑賞教室 実施報告について ⑦令和５年度社会教育・生涯学習関連の表彰について ⑧明治安田生命保険相互会社寄附金贈呈式について ⑨事業・行事等の報告及び予定事項
R5. 11. 21 (定例会)	議案第２６号 議案第２７号 議案第２８号 報 告	議会の議決に付すべき契約の締結について 議会の議決に付すべき契約の締結について 令和６年度由利本荘市立小・中学校教職員人事異動方針 について ①教育委員会関係 主な工事の状況について ②市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ③令和５年度全国学力・学習状況調査結果（概要） ④令和５年度「中学生アカデミー」について ⑤令和５年度「冬季教職員研修会」について ⑥令和５年度「中学生会議」について ⑦六郷氏・岩城氏・打越氏入部４００年記念事業 実施状況報告 について ⑧第１５回由利本荘市民俗芸能大会について ⑨令和５年度社会教育・生涯学習関連の表彰について（追加） ⑩事業・行事等の報告及び予定事項
R5. 12. 22 (定例会)	議案第２９号	由利本荘市事務の管理及び執行状況の点検・評価実績報告書 （令和４年度実績）について

	報 告	①令和５年度本荘地域学校再編実施状況について ②市内小・中学校 学級閉鎖・学年閉鎖状況（１２月） ③市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ④第１７回科学フェスティバル概要報告について ⑤令和６年度学校閉庁日について ⑥市内小・中学校の取組・功績等（８月～１１月） ⑦令和５年度「二十歳を祝う会」について（Ｒ６／１／７） ⑧令和５年度社会教育・生涯学習関連の表彰について（追加） ⑨北部学校給食センターの取組について ⑩事業・行事等の報告及び予定事項
R6. 1. 22 （定例会）	議案第１号 報 告	令和６年度教育予算の見積りについて ①令和６年度学校建設予定について ②部活動地域移行に向けて ③市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ④令和５年度第２回コミュニティ・スクール連絡協議会について ⑤令和５年度文部科学大臣優秀教員表彰者について ⑥令和５年度「二十歳を祝う会」実施報告について ⑦事業・行事等の報告及び予定事項
R6. 1. 30 （臨時会）	議案第２号 議案第３号	由利本荘市立志館条例を廃止する条例について 由利本荘市学習センター条例の一部改正について
R6. 2. 26 （臨時会）	議案第４号	令和６年度由利本荘市立小中学校教職員の定期人事異動について
R6. 2. 26 （協議会）	協 議	本荘地域における学校再編について（統合小学校校歌・校章）
R6. 2. 26 （定例会）	報 告	①令和６年度教育方針について ②令和６年度由利本荘市当初予算（案）について ③教育委員会関係 主な工事の状況について ④市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ⑤令和６年度 地区高校１次募集志願状況 ⑥第７６回「優良公民館」文部科学大臣表彰について ⑦令和５年度社会教育・生涯学習関連の表彰について ⑧令和５年度学校給食費収納状況について（１月末現在） ⑨事業・行事等の報告及び予定事項

R6. 3. 27 (定例会)	議案第 5 号	由利本荘市立学校の教育職員の業務の量の適切な管理等に関する規則の制定について
	議案第 6 号	由利本荘市立小中学校管理規則の一部改正について
	議案第 7 号	由利本荘市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について
	議案第 8 号	由利本荘市奨学資金貸与規則の一部改正について
	議案第 9 号	由利本荘市立志館条例施行規則の廃止について
	議案第 10 号	令和 6 年度由利本荘市の教育について
	議案第 11 号	令和 6 年 3 月 31 日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について
	議案第 12 号	令和 6 年 4 月 1 日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について
	報 告	①公立学校の教師の勤務時間に関するガイドライン ②令和 6 年度 教育関係指導員等配置一覧 ③令和 5 年度 本荘地域学校再編事業報告 ④本荘地域学校再編委員会からの報告について ⑤市内小・中学校 生徒指導関係事案一覧 ⑥市内小・中学校 学級閉鎖・学校閉鎖状況（3 月） ⑦令和 6 年度 各学校医・学校歯科医・薬剤師一覧 ⑧市内小・中学校の主な取組・功績等（12 月～2 月） ⑨由利本荘市本丸休憩施設「本丸の館」使用規則の一部改正について ⑩由利本荘市修身館使用規則の一部改正について ⑪生涯学習関連事業の報告について ⑫事業・行事等の報告及び予定事項

（２）教育委員の活動状況

①学校訪問

月 日	訪 問 校	月 日	訪 問 校
6 月 14 日	小友小	6 月 21 日	由利小・由利中
6 月 25 日	尾崎小	6 月 26 日	子吉小
6 月 27 日	東由利小	7 月 1 日	本荘南中
7 月 2 日	岩谷小・大内中	7 月 3 日	鶴舞小
7 月 4 日	東由利中	7 月 5 日	西目中

7月 8日	岩城小・岩城中	7月 9日	本荘北中
7月10日	大内小	7月11日	新山小
7月17日	鳥海小・鳥海中	7月18日	西目小
7月19日	矢島小・矢島中	7月22日	本荘東中
9月26日	由利小	10月 4日	小友小
10月11日	岩城小・本荘東中	10月12日	新山小・本荘北中
10月13日	大内小	10月16日	由利中
10月17日	東由利中	10月18日	岩谷小
10月20日	矢島中		

②諸会議・研修等 【教育長・教育委員】

月 日	会議名等	場 所	出席者
4月20日 ～21日	東北都市教育長協議会総会・研修会	福島県郡山市	出席
5月18日 ～19日	全国都市教育長協議会総会・研究大会	北海道帯広市	欠席
5月26日	秋田県都市教育長協議会総会	秋田市	欠席
5月26日	秋田県市町村教育委員会連合会 第1回定期総会	秋田市	欠席
7月 7日	東北六県市町村教育委員会連合会総会	大館市	出席
8月28日	秋田県市町村教育委員会連合会 第2回定期総会	秋田市	出席
10月 2日	全国 ICT 教育首長サミット・	東京都江東区	欠席
10月 4日 ～ 5日	全国史跡整備市町村協議会大会	埼玉県越谷市	教育次長 代理出席
11月 8日	B & G 全国教育長会議	東京都中央区	出席
11月 9日	全県市町村教育委員会教育長会議	秋田市	出席
11月16日	秋田県都市教育長協議会 教育長・関係課長会議	能代市	出席
12月14日 ～15日	全国コミュニティスクール 2023 研究 大会	鳥取県米子市 鳥取県南部町	出席
1月23日 ～24日	第16回B & G 全国サミット	東京都中央区	出席

(3) 計画の策定状況

「由利本荘市教育の振興に関する施策の大綱〈令和2～6年度〉」 令和2年2月策定

「第4次由利本荘市生涯学習推進・社会教育中期計画〈令和2～6年度〉」

令和2年3月策定

「由利本荘市第二次学校環境適正化基本計画」

平成31年3月策定

「由利本荘市歴史文化拠点施設整備基本方針」

令和4年3月策定

(4) 市民への情報提供の状況

- ・市広報及び市ホームページを活用して情報を提供している。

5. 主要施策・事業等の実施状況と評価

		分 野	学校教育部門
項 目	(1) 確かな学力の形成	担当課	学校教育課
点検・評価対象事業名	①諸調査の分析及び研修会		
事 業 の 目 的	○諸調査の分析を充実させることで児童生徒の実態を把握し、授業改善を図ったり課題に対応した効果的な手立てを講じたりすることができるようにする。 ○いじめの早期発見・即時対応や、不登校又はその傾向のある児童生徒への支援など、生徒指導上の諸課題への対応の充実を図る。		
事 業 の 実 施 状 況	○学力調査の分析・訪問指導等 ○児童生徒質問紙等の分析 ○学校生活アンケート、不登校実態調査等の実施、いじめ問題対策連絡協議会の実施		
点 検 評 価 及 び 説 明	☐目標を上回る ☒ほぼ目標どおり ☐目標をやや下まわる ☐目標を大幅に下まわる		
○学力調査の分析・訪問指導等 ・全国学力・学習状況調査（小6・中3対象）採点委員会の開催（4月20日、21日） ・秋田県学習状況調査（小4～中2対象）採点委員会の開催（12月11日、12日） 小・中学校の教員が集まり、教科毎に採点をし、成果と課題について協議した。 特に課題については、その要因や改善に向けて指導の際に意識したいこと等も協議し、協議内容を各校へ情報提供することで授業改善を図った。 ・総合学力調査（小5～中3対象）の実施（4月） 結果について、各校でWeb分析システムを活用して観点や領域、基礎・応用などのカテゴリー別に分析し、成果と課題を検証している。事後指導には、児童生徒個々の学習状況に応じた復習シートを活用した。また、小5と中2の結果については、市教育支援センター運営委員会の総合学力調査分析検討会において、各教科毎に正答率が低い問題を選定し、その要因や授業改善のポイント、類題等を記載したシートを作成し、各校に提供している。 ・市授業力向上訪問等の実施（各校の希望日7月～2月：27回） 県教育委員会等の訪問がない学校を訪問し、授業研究会や研修会を通して、学習指導要領に沿った指導や児童生徒の主体的な学びを促す手立て等、授業改善のポイントや、タブレット端末等ICT機器の効果的な活用などについて助言した。			

○児童生徒質問紙等の分析

各教科への取組状況、家庭での過ごし方や学習時間、授業でのＩＣＴ機器の活用など生活習慣や学習習慣に関する意識を分析し、その結果を市のホームページに掲載したほか、各学校の学校報に「結果概要」を掲載するよう依頼し、保護者や地域住民に広く周知した。

○学校生活アンケート、不登校実態調査等の実施

・学校生活アンケート（７月・１１月）の実施

いじめの解消を目的とし、いじめに関する記述についてはそのすべてに即時対応し、指導や見守りを継続した。

・不登校児童生徒実態調査（７月・１２月）の実施

不登校またはその傾向のある児童生徒の実態と対応について把握し、各校に対して適応指導教室やその他関係諸機関との連携を働きかけるなど、指導の充実を図った。

・いじめ問題対策連絡協議会（６月・１月）の実施

いじめの実態やいじめ防止に関する方針等について学校、家庭及び関係機関による情報交換を行い、いじめ問題への対策や関係機関との連携の在り方等について協議し、その内容を各学校に情報提供した。

今後の課題及び改善策・方向性

○学力調査の分析結果について周知を図るとともに、各校で分析結果を授業改善に生かし、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を図ることができるよう、研修会や学校訪問等で各校の状況を踏まえた適切な助言をする。また、意識調査の結果を学校での指導に生かし、家庭や地域との連携を一層深めるよう働きかける。

○各校における児童生徒の「居場所づくり・絆づくり」の取組や、学校、家庭、関係諸機関との連携、及び「個」に応じた支援が一層充実するような働きかけを継続していく。「個」に応じた支援として、ＩＣＴを活用した支援の充実を図っていくとともに、オンラインによる教育相談を実施していく。

学識経験者の意見

- ・どの位の目標があつて、それに対して可能な限り数値として評価できればよいと思う。
- ・ＩＣＴの普及をただ進めるのではなく、ＩＣＴ機器をどのように活用したか。具体的な活動をどうしていくか。今後、そういった分析の仕方をお願いしたい。
- ・いじめや不登校の実態を把握しながら適切な対応をお願いしたい。
- ・学力については本市の児童生徒は優秀であるが、より優れた人に対するサポートがあつてもよいのではないか。社会人になった時に本市に貢献するなど効果が現れてくる。

- ・本市の重点施策に「地域力を活かした学校づくりと学校力を活かした地域づくり」がある。児童生徒が減少する中、この時期にどういう学校教育を行うかが問われてくる。
- ・新しい学習指導要領では英語力もクローズアップされてくる。本市の施策として考えたい。
- ・不登校に対して、居場所を確保すればよいだけではなく、どうすれば不登校でなくなるかを考えるべき。
- ・いろんな活躍の場がある。科学部や英語弁論大会などで活躍する児童生徒も大事にし、追随させる取り組みも大事。今までは平均ということに重きを置いていた感がある。

		分 野	学校教育部門
項 目	(1) 確かな学力の形成	担当課	学校教育課
点検・評価対象事業名	②特別支援教育及び就学前教育等への支援		
事 業 の 目 的	○早期からの教育相談体制を整備し、子どもや保護者に寄り添った支援を継続していくことで「0歳から就労まで」の切れ目ない支援体制を構築する。 ○健康福祉部三課（こども未来、健康づくり、福祉支援）と連携して情報共有を図り、子どもや保護者の実態に応じた支援を行う。		
事 業 の 実 施 状 況	○「5歳児健康相談」における教育相談の実施 ○園訪問と教育相談の実施 ○就学支援員及び学校間連携コーディネーターの配置 ○特別支援教育支援員の配置		
点 検 評 価 及 び 説 明	☐目標を上回る ☒ほぼ目標どおり ☐目標をやや下まわる ☐目標を大幅に下まわる		
○「5歳児健康相談」における教育相談の実施 市内すべての5歳児（年中児）を対象とした健康相談において、健康づくり課やこども未来課との連携により教育相談を実施し、情報の共有化を図った。 遊びの様子を観察したり、発達検査の結果を共有したりしながら、保健師や保育士、臨床心理士、支援学校の教育専門監と連携し、子育てや就学に関する支援方法を検討した。また、就学までの家庭での支援や準備に関する情報を保護者に提供した。 ○園訪問と教育相談の実施 4月に、園が作成した実態表を基に「特別な配慮を要する年長児」を把握し、5～6月の園訪問で対象児の観察と職員からの情報収集を行った。 特別支援教育に係るリーフレット「就学までのながれ」を活用して園の職員と打合せを実施した。また、相談会や教育相談、就学決定の時期等についても説明し、理解と協力を得た。 就学後に生活サポート等の支援を希望する園児と保護者を対象に、就学先の小学校での教育相談を実施した。学校見学や授業参観をしたり、就学後に予想される困り感に対する支援について話し合ったりした。 ○就学支援員及び学校間連携コーディネーターの配置 保育園や認定こども園等から小学校への円滑な就学に向けて、就学支援員を配置している。入学後に特別な支援を必要とする園児の小学校での教育相談に同行したり、			

「学ぶんファイル」の作成や活用を勧めたりして、円滑な引継ぎを行った。

また、幼児通級指導教室（さくら教室）では、支援を必要とする子どもに対し、実態に応じて、小学校入学後の活動につながる個別指導を実施した。

小学校から中学校、中学校から高校・特別支援学校への引継ぎを確実に行うために、学校間連携コーディネーターを配置した。児童生徒や保護者と面談をすることで、進路に関する情報を提供したり助言したりした。また『引継ぎシート』を活用した学校間の円滑な引継ぎと見届けを支援した。

○特別支援教育支援員の配置

各学校の実情や児童生徒の教育的ニーズに応じた学習、生活、医療面での支援をする特別支援教育支援員の配置を行った。

4月に行われた県主催の研修会に同行し、研修の様子や参加者の考えを把握した。また、5月に市主催の研修会を開催し、支援員からの悩みや効果的な支援についての意見交換を通じて、今後の支援について考える機会とした。

今後の課題及び改善策・方向性

○特別な支援を要する児童生徒について、就学支援員や学校間連携コーディネーターの役割を生かしながら、各園や学校が主体となって引継ぎができるように支援していく。

○特別支援教育支援員の配置について、対象児童生徒が年々多くなっており、希望どおりの配置ができない状況にある。学校の実情や児童生徒の実態をより細かく把握し、自立に向けた効果的な支援ができるように、配置の工夫や支援方法の提案をしていく。

学識経験者の意見

- ・支援が十分できている。最近はADHDのような難しい障害もある。早め早めの対応が将来の改善に繋がると思う。
- ・年々、支援を要する児童は増えている。学校間連携コーディネーターについて、可能な限り充実した配置を希望したい。
- ・サポート支援員の配置もありがたい。研修にも力を入れているようだが、量よりも質。継続したマンパワーの確保が重要。
- ・指導主事を中心に指導員達の悩みにも対応出来るような体制を望みたい。

項 目	(1) 確かな学力の形成
点検・評価対象事業名	③学校のICT環境整備
事業の目的	○国のGIGAスクール構想により、児童生徒一人一台のタブレット端末の整備が進んだことに伴い、本市においても、学びの個別化、主体的な学びの促進等、これからの学校教育で重視される学びの形の実現に向け、端末や機器等の整備・活用に向けた環境面の充実など、ICT環境の整備を推進していく。
事業の実施状況	○タブレット端末等の機器類の整備、使用する際のルール策定及び保護者への周知など、日常的な使用に向けた環境整備 ○学校でのICT活用の推進 ○タブレット端末の家庭への持ち帰りに向けた環境整備
点検評価及び説明	☐目標を上回る ☒ほぼ目標どおり ☐目標をやや下まわる ☐目標を大幅に下まわる
○GIGAスクール構想によるタブレット端末の整備 導入の目的や活用場面のイメージ、使用時のルール、持ち帰り時の注意事項等について文書を整え、児童生徒及び保護者に周知した。機能やソフトの使い方について教員向け研修会を実施し、指導者のスキルアップを図った。タブレット端末の使用頻度の高まりとともに修理等の報告も増加し、随時迅速に対応した。 ○「ゆりほんICT子供の学びアップデートプラン」の推進 GIGAスクール構想をより具体化するために、由利本荘市独自の「発信する力」「創る力」「拡げる力」「環境整備」の四つの柱に沿った年次計画を推進した。令和5年度は、各小・中学校へのICT支援員の派遣、学校ウェブサイトの充実、タイピング競技会や3Dプリンター創作教室の開催、プログラミング教材の貸出しを重点的に進めた。 ○プロジェクター等の関連機器の整備と管理 各学校の普通教室及び特別教室に整備された、電子黒板機能を備えたプロジェクターや書画カメラなどは、全ての学校において日常的に活用されている。 ○タブレット端末持ち帰りのための環境整備 インターネット環境整備支援としての家庭へのモバイルルーターの無償貸与、学校外でも機能するフィルタリングソフトの利用を継続している。	

今後の課題及び改善策・方向性	○児童生徒の学習成果の発表の場としてのデジタル作品の展示会、先端技術に触れるための３Ｄプリンター創作教室やドローン操作体験など、ゆりほんＩＣＴ子供の学びアップデートプランを、見通しをもって具体的に進める。 ○児童生徒個々に応じた学習に対応できるというタブレット端末の特性を生かすため、個別に最適化された教材（デジタルドリルなど）の活用や、授業での協働的な学びの場面での活用を促す。
学識経験者の意見	・非常によい取り組みである。市でも予算を継続して確保してくれてありがたいが、先生の中でも活用する人とそうでない人がいると思う。先生への教育が大事。 ・制限の設定を厳しくするよりも子ども達への倫理的教育の充実を図るべき。 ・ある学校の授業を見た。先生達が積極的に授業に活用していた。春の時より秋には向上が感じられた。 ・市教育の７つの基本施策のもと、発信する力、まさに本市の教育の姿だと思う。どんどん使わせたほうがよい。

		分 野	社会教育部門
項 目	(1) 社会的課題に対応した教育・学習活動の推進	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名	①芸術鑑賞教室		
事業の目的	○市内に在住する児童・生徒に対し、優れた芸術作品の鑑賞機会を提供することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことを目的とする。		
事業の実施状況	平成18年度から市内全小学校児童、全中学校生徒を対象に実施している鑑賞事業である。平成23年度には劇団四季による「こころの劇場」が本市を会場に毎年開催されることとなり、芸術鑑賞教室事業の一環として行われている。小学校1～5年生並びに中学校1～3年生は幅広いジャンルの作品を鑑賞し、小学校6年生は「こころの劇場」への参加する形式で継続開催している。 令和5年度は新型コロナウイルス感染症により中止となっていた「こころの劇場」が4年ぶりに再開され、プロの舞台芸術を間近で体験できたことで、子どもたちも大変感動した様子であった。大きな会場で本物の舞台芸術に触れたり、学校から離れて公共施設利用のマナーを学んだりする貴重な場として実施できた。 ○実施概要 開催場所：カダーレ * 小学校下学年の部（1～3年生） 参加者数：1,189人 ・開催期日：令和5年9月7日（木）～9月8日（金） 4公演 ・上演作品：音楽『絵本 de クラシック』 * 小学校上学年の部（4～5年生） 参加者数：985人 ・開催期日：令和5年9月21日（木）～9月22日（金） 3公演 ・上演作品：ミュージカル『オズの魔法使い』 * 小学校6年生の部（劇団四季 こころの劇場） 参加者数：657人 ・開催期日：令和5年10月2日（月） 1公演 ・上演作品：ミュージカル『エルコスの祈り』 * 中学校の部（1～3年生） 参加者数：1,626人 ・開催期日：令和5年8月31日（木）～9月1日（金） 4公演 ・上演作品：音 楽『USA ゴスペルススペシャルコンサート』		

点 検 評 価 及 び 説 明	☐ 目標を上回る ☒ ほぼ目標どおり ☐ 目標をやや下まわる ☐ 目標を大幅に下まわる
・市内小学校１３校、中学校１０校の全児童・生徒を対象に鑑賞会を開催。新型コロナウイルス感染症の分類が５類へ移行したが、消毒薬の設置やマスク着用（任意）などを行い感染予防に配慮しながら安全に実施できた。 ・「こころの劇場」においては、平成２８年度よりにかほ市の小学校６年生も参加をしている。にかほ市の児童の参加も再開し、小学校４校から１５６名が参加した。にかほ市教育委員会とも協力しながらスムーズな事業運営を行うことができた。	
今後の課題及び改善策・方向性	・本市では、カダーレを会場に様々な催しが行われているが、全児童・生徒を対象としたものは芸術鑑賞教室だけであることから舞台芸術の鑑賞機会として、今後も継続して開催したい。 ・毎年学校にアンケート調査や事業後の感想の聞き取りを行い、意見を参考としながら鑑賞する作品の選定し、子どもたちが幅広くよい作品に出会えるよう努めたい。 ・民間バスを利用して帰宅する児童への対応や、借上バスの台数が限られる中、天候不順や夏季の気温の高さなどの理由から、バスの利用を希望する学校も増えている。学校と綿密に連絡をとりながら配車に努め、今後も安全に児童・生徒が参加できるよう事業運営を行いたい。
学識経験者の意見	・劇団四季によるこころの劇場では、にかほ市と連携して実施するなど、うまく事業を運営している。芸術に触れるよい機会なので今後も継続していただきたい。 ・本市出身の劇団四季関係者の協力により、劇団四季のミュージカルを毎年鑑賞できている。事前にその方のことや劇団のことを学習してから鑑賞するとよりよい学習の機会となるのでは。 ・空席を利用し、保護者や市民も鑑賞できるような形も検討してほしい。 ・行き帰りの交通安全には十分に気をつけて行ってほしい。

		分 野	社会教育部門
項 目	(1) 社会的課題に対応した教育・学習活動の推進	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名	②六郷氏・岩城氏・打越氏入部400年記念事業		
事業の目的	○本市の近世の礎となる3氏の入部400年を機に、郷土の特色のある歴史と文化に対する理解を深めるとともに、ふるさと由利本荘市に対する愛着と誇りを醸成し、歴史を活かしたまちづくりの種をまくことを目的とする。		
事業の実施状況	○6事業：決算額1,727千円 ①特別展「本荘藩六郷氏の足跡」 修身館において六郷氏に関する展覧会を実施 前期展(7/22-9/10) 六郷氏のあゆみと藩政 来館者数 756人 後期展(9/16-11/5) 本荘城下再発見 来館者数 977人 ②郷土学習リーフレット作成 江戸時代の本市を紹介する学習リーフレットを作成 小学6年生をメインターゲットとし作成。 A4両面カラー：4,000部 市内小学6年生及び希望する中学校、関係団体、一般希望者に配布 ③まちあるき説明板設置 本荘城下の主要スポットならびに石脇地域の国登録有形文化財建造物に説明板を設置 本荘城下町域：10箇所。 石脇地域：2箇所 ※「本荘公園・石脇地区文化財建造物」伝承事業実行委員会を組織し、東日本鉄道文化財団より事業支援(90万円)を受けながら実施した。 ④城下町まちあるき体験講座 本荘城下町や城跡をフィールドに、ガイドの解説を聞きながらまちあるきを実施 1回目(9/9) 本荘公園～大町角～八幡神社 参加者数 18人 2回目(10/28) 本荘郷土資料館～御番所跡～長弾寺 参加者数 16人 ⑤地域活性化講演会 西目公民館シーガルにおいて歴史を活用した地域活性化講演会を実施 入場者数 80人 講師：北川 央(ひろし)氏 タイトル：大阪城で私がやってきたこと 九度山・真田ミュージアム名誉館長(大阪城天守閣前館長)		

⑥広報コラム連載

広報ゆりほんじょうの紙面において、三氏に関わる内容をコラムと Q&A 形式で連載計 5 回

第 1 回 広報ゆりほんじょう (4/15 号) 「三氏入部の背景」

第 5 回 広報ゆりほんじょう (8/15 号) 「三氏に関わる史跡と文化財」

この他にも各地域の教育学習課において、関連する事業 (30 事業) を展開した。

点 検 評 価 及 び 説 明

■目標を上回る

□ほぼ目標どおり

□目標をやや下まわる

□目標を大幅に下まわる

○市民が地域の歴史や文化に触れ、ふるさとの良さを再確認する絶好の機会と捉え、記念事業として実施した。全体の計画には、商工会や観光協会、県立大学、文化財保護協会などによる打合会を開催し、事業のあり方を協議した。また、開催に当たっては関係する団体からの協力を得て実施した。

①特別展「本荘藩六郷氏の足跡」では、県立博物館や美郷町学友館などの県内資料館から資料の貸し出しをいただき、また県外からも山形県上山市教育委員会や大阪城天守閣などの協力を得ながら、本市で所蔵する資料以外にも貴重な資料を展示することができ、多くの方にご覧頂いた。

②郷土学習リーフレット作成では、三氏のゆかりの地をそれぞれの色で表し、分かりやすく表現し、郷土学習教材として小学校6年生が理解・活用できるように記載する内容も整えた。児童・生徒の一人一台タブレットにも合わせて、授業でも使用できるようにリーフレットをデータ化にして各学校にも渡しており、今後も学習できる環境とした。

③まちあるき説明板設置では、早い段階で関係者による実行委員会を組織し、東日本鉄道文化財団「地方文化事業支援」助成を含めて、多くの方々から協力や支援を受けながら事業を進め、当初計画の10箇所を13箇所に変更し、拡充して設置することができた。

④城下町まちあるき体験講座では、上記③で設置した説明板も活用しながら、本荘城下と石脇地区をそれぞれのまち歩きの会の協力により実施した。段取りから当日の詳細をまちあるきの会と共有できたことによりスムーズに行えた。暑さ対策として、消防署での休憩やクールグッズの配布なども対応できた。

⑤地域活性化講演会では、大阪城天守閣の名物館長として活躍された北川先生を講師に、歴史を通し、多くの人に親しまれる仕掛けづくりについて講話をいただいた。ポスター・チラシのほか、市ホームページなどで開催を周知しており、歴史に興味がある方以外の来場者もあり、先生への質疑では、活発な意見交換も見られた。真田の繋がりで本市とも交流のある和歌山県九度山町の真田ミュージアム

名誉館長でもあることから、九度山町の岡本町長がお見えになられ聴講された。 ⑥広報コラム連載では、広報ゆりほんじょうの4月から8月の15日号にて、三氏に関わる歴史や文化を紹介。様々な文献や資料を再確認し、表現の仕方にも工夫をしながら、Q&A形式も交えて分かりやすい記事とした。 ○この他の関連事業も含めて、多くの市民から「良かった」とのお言葉も頂いており、この事業を通し、地域の歴史や文化に触れ、ふるさとの良さを再確認していただけたものと感じている。 ○事業の推進に当たっては、6つの事業をそれぞれ担当制とし、文化財保護室員と生涯学習推進班員をペアとして行った。また、毎週木曜日には、担当からの報告による課内の打合会を開催し、それぞれの課題や進捗等の確認を行ったことにより共通の認識のもとにスムーズな事業実施ができた。	
今後の課題及び改善策・方向性	・今回の400年記念事業では、年度を通しての市をあげての事業となり、各部署にて様々な事業が行われた。多くの市民が歴史に触れ、親しむ機会となり、少なからず歴史や文化に市民の目が動いたと思われる。これを機会として歴史を活かしたまちづくりへの仕掛けづくりを行っていく。 ・事業の目的を明確にし、ターゲットとなる年齢層も考慮しながら、事業を計画していく。事業の実施に当たっては、さらに様々な媒体を駆使して広く事業の周知を図り、参加者数の増につなげる。
学識経験者の意見	・非常に有意義な事業だったと思う。これで終わりではなくどうやって継続して由利本荘市をPRしていくかが大事。今後活かしてほしい。 ・6つの事業についてもよく行われている。歴史を活かしたまちづくり、仕掛けづくりができたのでは。今後も継続してほしい。 ・来年度以降も企画があるようだが、例えば鳥海にはマタギ文化がある。SNSで発信して全国からも人が集まるような事業を期待したい。

		分 野	社会教育部門
項 目	(2) 読書の大切さの啓発と 読書活動の推進	担当課	中央図書館
点検・評価対象事業名	マイナンバーカード図書館利用事業		
事 業 の 目 的	○「由利本荘市マイナンバーカード利活用宣言」(令和4年12月15日)に基づく事業 ・マイナンバーカードに図書利用カードの機能を持たせることでマイナンバーカードの利便性を高め、より身近で利用しやすい仕組みを作る。 ・自治体デジタル(DX)推進事業の一環として、図書館サービスのデジタル化を推進する。 ・県内図書館における初の取組。		
事 業 の 実 施 状 況	○設置図書館 中央図書館、岩城図書館、由利図書館、大内出羽伝承館 ○取組方法 ・従来の「図書利用カード」と「マイナンバーカードが併用できるシステムを構築し運用する。 ○導入スケジュール ・令和5年5月30日 契約締結 契約金額：2,454,100円 ・6月30日 設置完了 ・7月1日 運用開始 ○利用方法 【事前に「図書利用カード」と「マイナンバーカード」を紐付けする】 ・利用者がカードリーダーにマイナンバーカードをかざす。 ・専用端末に表示された図書利用カードのバーコードを、職員がバーコードリーダーで読み取る。 ・職員が通常の図書貸出業務を行う。 ○利用者数 ・令和5年度 86人 (参考 令和6年9月末時点利用者数合計 109人)		

点 検 評 価 及 び 説 明	☐ 目標を上回る ☒ ほぼ目標どおり ☐ 目標をやや下まわる ☐ 目標を大幅に下まわる
○計画どおりに導入することができ、順調に運用が継続されている。 利用者数は、他市の人口に対する利用者数とほぼ同規模（0.1％程度）。	
今後の課題及び改善策・方向性	○今後、図書利用カード登録者の半数以上を占める60歳以上の利用者に対し、積極的な働きかけを行うとともに、図書利用カードの新規登録者を増やしなが、更なる利用促進を図りたい。 ○マイナンバーカードと健康保険証の紐付けの動向を注視しながら、事業の展開を図りたい。
学識経験者の意見	・大変素晴らしい取り組みだが、使い勝手がよくなないと難しいところもある。若年層の取り込みがカギになるのでは。 ・普及を急ぐのではなく、いろんな付加価値をつけながら、徐々によさが浸透していけば、自然と登録者も増えていくのでは。地道な取り組みが大事である。

		分 野	教育環境整備部門
項 目	(1) 学校環境適正化の推進	担当課	教育総務課
点検・評価対象事業名	「由利本荘市第二次学校環境適正化基本計画」の推進		
事業の目的	○児童規模において、100人以下の小規模校から800人規模の大規模校まで6校で構成されている本荘地域において、児童の減少が今後も続き、複式学級導入の学校も複数生じてくる可能性を重く捉え、学校間の教育環境の格差を解消し、文部科学省が示している適正規模・適正配置に基づいた均衡ある学校を構築するため、「第二次学校環境適正化基本計画」を平成31年3月に策定し、本荘地域の適正な学校環境の推進に向け、その取組を進める。		
事業の実施状況	○平成31年3月4日 ・教育委員会 臨時会 「第二次学校環境適正化基本計画」承認。 ○周知活動 平成31年 1月15日号 『広報ゆりほんじょう』掲載 平成31年 1月～2月 各小学校区で説明会を開催（計5回） 令和 元年 5月17日 本荘地域町内会長協議会で説明 令和 元年 7月 5日 石沢小PTA、小友小PTAで説明 ○小友小・石沢小統合に向けた取組 令和元年 8月19日 教育委員会 定例会「小友小・石沢小の統合及び時期について」承認 小友小学校・石沢小学校統合準備委員会設置要綱施行 令和元年10月30日 「第1回 小友小・石沢小統合準備委員会」 構成：学校運営協議会・地域振興会・町内会長協議会 集落支援員・PTA・学校 19名 委員長：小友小学校学校運営協議会会長 小友地域振興会会長 須田純悦 令和元年12月19日 「第2回 小友小・石沢小統合準備委員会」 令和2年 1月30日 「第3回 小友小・石沢小統合準備委員会」 令和2年 2月18日 小友・石沢スポーツ少年団の体制に係る協議 令和2年 6月 5日 統合後の通学方法に係る意見交換会 令和2年 7月20日 「第4回 小友小・石沢小統合準備委員会」 令和2年11月 3日 「石沢小学校閉校記念式典」 令和2年12月22日 「第5回 小友小・石沢小統合準備委員会」		

令和3年 2月26日 「第6回 小友小・石沢小統合準備委員会」

【結果】

統合年月：令和3年4月 使用校舎：小友小学校校舎

校 名：「小友小学校」 校歌・校章：小友小学校の校歌・校章

※児童の通学には、路線バス・スクールバスを併用する。

※現在石沢小学校で行っている、石沢地域の伝統・文化を活かした
取組を小友小学校に引き継ぐ。

○統合小学校建設・改築に向けた取組

令和元年10月31日 「本荘地域学校再編委員会設置要綱」施行

令和元年12月 2日 「第1回 本荘地域学校再編委員会」

◆構 成：学識者・CS・PTA・学校・学校運営協議会・振興会・町内会
14名

◆委員長：秋田県立大学システム科学技術学部長 松本真一

令和2年 2月20日 「第2回 本荘地域学校再編委員会」

令和2年10月 6日 「第3回 本荘地域学校再編委員会」

令和2年11月11日 「第4回 本荘地域学校再編委員会」

【学校再編委員会報告】

統合小学校の建設予定地は、本荘東中学校の市道松街道線を挟んだ西側とする。

通学区域は、小・中1ユニットの視点、四校からの通学面など総合的に
考え、現本荘東中学校の通学区域を適用する。

令和2年11月24日 「教育委員会 定例会」で承認・決定

令和3年 7月29日 「本荘南中学校区統合小学校準備委員会設置要綱」、
「本荘東中学校区統合小学校準備委員会設置要綱」施行

令和3年 9月28日 「第1回 本荘地域学校再編委員会」

令和3年10月28日 「第1回 本荘東中学校区統合小学校準備委員会」

令和3年11月19日 「第1回 本荘南中学校区統合小学校準備委員会」

令和3年12月21日 「第2回 本荘東中学校区統合小学校準備委員会」

令和3年 3月 4日 「第2回 本荘南中学校区統合小学校準備委員会」

※中止のため、アンケートを実施。

令和3年 3月 「第2回 本荘地域学校再編委員会」※中止

令和4年 7月19日 「第1回 本荘東中学校区統合小学校準備委員会」
 令和4年 7月29日 「第1回 本荘南中学校区統合小学校準備委員会」
 令和4年 8月10日 「第1回 本荘地域学校再編委員会」
 令和4年10月 3日 「第2回 本荘南中学校区統合小学校準備委員会」
 令和4年10月26日 「第2回 本荘東中学校区統合小学校準備委員会」
 令和4年12月15日 「第3回 本荘南中学校区統合小学校準備委員会」
 令和5年 1月17日 「第4回 本荘南中学校区統合小学校準備委員会」
 令和5年 2月 8日 「第2回 本荘地域学校再編委員会」

【学校再編委員会からの提言】 令和5年3月10日

本荘南中学校区統合小学校 使用校舎 → 尾崎小学校校舎
 本荘南中学校区統合小学校 校 名 → 鶴舞小学校
 本荘東中学校区統合小学校 校 名 → 本荘東小学校

令和5年 8月 3日 「第1回 本荘地域学校再編委員会」
 令和5年 9月13日 「第1回 本荘東小学校開校準備委員会」
 令和5年 9月21日 「第1回 鶴舞小学校開校準備委員会」
 令和5年11月14日 「第2回 本荘東小学校開校準備委員会」
 令和5年11月30日 「第2回 鶴舞小学校開校準備委員会」
 令和6年 1月11日 「第3回 本荘東小学校開校準備委員会」
 令和6年 1月17日 「第3回 鶴舞小学校開校準備委員会」
 令和6年 2月13日 「第2回 本荘地域学校再編委員会」

【学校再編委員会からの提言】 令和6年3月7日

鶴舞小学校校歌 → 新しく制定する
 鶴舞小学校校章 → 現鶴舞小学校の校章を引き継ぐ
 本荘東小学校校歌 → 新しく制定する
 本荘東小学校校章 → 新しく制定する

点 検 評 価 及 び 説 明	☐ 目標を上回る	☒ ほぼ目標どおり
	☐ 目標をやや下まわる	☐ 目標を大幅に下まわる
○「第二次学校環境適正化基本計画」に従い、本荘南中学校区及び本荘東中学校区の小学校統合を円滑に進めるために、昨年度に引き続き、学識経験者や地域、学校、PTA等で組織する「学校再編委員会」及び「開校準備委員会」を設置し、「校歌」や「校章」の作成方法について、具体的な協議を進め、「学校再編委員会」としての提言書をまとめることができた。 ○2つの「開校準備委員会」においては、協議にあたり「学校毎」や「委員選出区分毎」にグループ協議を行い、さらには委員長・副委員長との協議も行いながらより具体的な協議や意見集約を行った。		
今後の課題及び改善策・方向性	○「学校再編委員会」からの提言について、広く市民に周知するとともに、教育委員会や市当局との協議を進め、「校歌」及び「校章」の公募や制作者の選定をすみやかに行う必要がある。 ○来年度も遅滞なく「学校再編委員会」を開催し、6年度の協議事項やスケジュールを作成し、適宜「開校準備委員会」を開催しながら、開校に向け円滑に協議を進める必要がある。	
学識経験者の意見	・ いろんな方々の意見の集約、本当に難儀なことだと思う。開校までまだまだやることはあると思うが引き続きご尽力いただきたい。 ・ 細部にわたって丁寧に進めていることと思う。いくら検討してもしきれない。地域への配慮は大変だったと思う。おかげで結果としては落ち着くところに落ち着いているのではないかな。	

		分 野	教育環境整備部門
項 目	(2) 学校施設の整備	担当課	教育総務課
点検・評価対象事業名	①新山小学校改築事業		
事業の目的	○「公共施設等総合管理計画」や「学校環境適正化計画」に基づき、築60年近く経過した新山小学校の校舎を改築し、学校環境の適正化を図る。 【学校施設環境改善交付金事業】		
事業の実施状況	令和元年度事業 ●基本設計業務委託（耐力度調査を含む） - 委託期間 R 1 . 8 . 9 ～ R 2 . 3 . 1 9 - 契約金額 2 2 , 4 4 6 , 6 0 0 円 - 契約相手 村田・アルファ設計共同企業体 ●敷地測量業務委託 - 委託期間 R 1 . 1 2 . 1 3 ～ R 2 . 3 . 1 9 - 契約金額 1 , 3 5 3 , 0 0 0 円 - 契約相手 三栄測量株式会社 令和2年度事業 ●実施設計業務委託 - 委託期間 R 2 . 7 . 1 7 ～ R 3 . 3 . 1 9 - 契約金額 7 5 , 0 2 0 , 0 0 0 円 - 契約相手 村田・アルファ設計共同企業体 ●地盤調査業務委託 - 委託期間 R 2 . 7 . 2 7 ～ R 3 . 1 . 2 2 - 契約金額 6 , 1 6 0 , 0 0 0 円 - 契約相手 秋田ボーリング株式会社 令和3年度事業 ●建築主体工事（第Ⅰ・Ⅱ期） - 工事期間 R 3 . 6 . 1 7 ～ R 6 . 9 . 3 0 - 契約金額 2 , 6 0 5 , 9 0 0 , 0 0 0 円 - 契約相手 村岡・長田・山科特定建設工事共同企業体		

●機械設備工事（第Ⅰ期）

工事期間 R 3 . 6 . 1 7 ～ R 4 . 9 . 3 0

契約金額 3 3 1 , 1 0 0 , 0 0 0 円

契約相手 三共施設・山二施設・高橋秋和特定建設工事共同企業体

●電気設備工事（第Ⅰ期）

工事期間 R 3 . 6 . 1 ～ R 4 . 9 . 3 0

契約金額 1 4 6 , 7 4 0 , 0 0 0 円

契約相手 本荘電気・仁賀保電機特定建設工事共同企業体

●監理業務委託

委託期間 R 3 . 6 . 1 4 ～ R 6 . 1 0 . 1 1

契約金額 5 8 , 8 5 0 , 0 0 0 円

契約相手 村田・アルファ設計共同企業体

令和 4 年度事業

●建築主体工事（第Ⅰ・Ⅱ期）※継続

工事期間 R 3 . 6 . 1 7 ～ R 6 . 9 . 3 0

契約金額 2 , 8 6 8 , 3 0 5 , 0 0 0 円

契約相手 村岡・長田・山科特定建設工事共同企業体

●機械設備工事（第Ⅰ期）※継続

工事期間 R 3 . 6 . 1 7 ～ R 4 . 9 . 3 0

契約金額 3 3 1 , 1 0 0 , 0 0 0 円

契約相手 三共施設・山二施設・高橋秋和特定建設工事共同企業体

●電気設備工事（第Ⅰ期）※継続

工事期間 R 3 . 6 . 1 ～ R 5 . 1 . 3 1

契約金額 1 5 8 , 9 9 7 , 3 0 0 円

契約相手 本荘電気・仁賀保電機特定建設工事共同企業体

●監理業務委託 ※継続

委託期間 R 3 . 6 . 1 4 ～ R 6 . 1 0 . 1 1

契約金額 5 8 , 8 5 0 , 0 0 0 円

契約相手 村田・アルファ設計共同企業体

●管理用備品購入

購入内容 児童用机・イス、カーテン類、時計、パーテーション 他

契約金額 2 5 , 3 4 5 , 6 1 7 円

契約相手 (株)スダキ商事、(株)あおい装飾、(株)栄和

令和5年度事業

●建築主体工事（第Ⅰ・Ⅱ期）※継続

工事期間 R3. 6. 17～R6. 9. 30

契約金額 2, 971, 408, 000円

契約相手 村岡・長田・山科特定建設工事共同企業体

●機械設備工事（第Ⅱ期）

工事期間 R5. 6. 13～R6. 9. 30

契約金額 272, 250, 000円

契約相手 三共施設・山二施設特定建設工事共同企業体

●電気設備工事（第Ⅱ期）

工事期間 R5. 6. 13～R6. 9. 30

契約金額 179, 300, 000円

契約相手 本荘電気・仁賀保電機特定建設工事共同企業体

●監理業務委託 ※継続

委託期間 R3. 6. 14～R6. 10. 11

契約金額 58, 850, 000円

契約相手 村田・アルファ設計共同企業体

点検評価及び説明

☐目標を上回る

■ほぼ目標どおり

☐目標をやや下まわる

☐目標を大幅に下まわる

○通常の学校運営を行っている中での工事となるため、騒音対策や児童や教職員等の安全を第一に、従事する職員の事故防止や熱中症対策などにも十分配慮しながら、昨年度と同様、5年度も順調に工事を進めることができた。

○今年は新たに機械設備工事及び電気設備工事の第Ⅱ期工事に着手したほか、建築主体工事においては物価高騰による工事費の増額による変更契約を行ったが、いずれも手続きを遺漏なく行うことができた。

今後の課題及び改善策・方向性

○隣接する既存校舎で通常の学校運営を行っている中での作業であるため、引き続き児童や職員の安全に十分配慮しながら円滑に工事を進める必要がある。

○来年度は第Ⅱ期工事の完成と遅滞なく第Ⅲ期工事を行う必要があるほか、管理用備品の購入も控えているため、予算要求をはじめ、手続きに遺漏のないように努めたい。

学識経験者の意見	
----------	--

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・物価高騰も続くと思われるが、遺漏のないようにお願いしたい。時間がかかる事業で大変だと思うが、安全に配慮しながら工事を進めていただきたい。・通常の学校運営を行っている中で、安全に十分配慮しながら工事を行っている。今後も事故等には十分気をつけてほしい。 |
|--|--|

		分 野	教育環境整備部門
項 目	(2) 学校施設の整備	担当課	教育総務課
点検・評価対象事業名	②矢島小学校改築事業		
事 業 の 目 的	○「公共施設等総合管理計画」や「学校環境適正化計画」に基づき、築50年以上経過した矢島小学校の校舎を移転・改築し、学校環境の整備に努める。 【学校施設環境改善交付金事業】		
事 業 の 実 施 状 況			
令和2年度事業			
●基本設計業務委託			
委託期間 R2. 7. 27～R3. 2. 26			
契約金額 15,950,000円			
契約相手 コスモス・工藤設計共同企業体			
令和3年度事業			
●地質調査業務委託			
委託期間 R3. 7. 16～R3. 10. 29			
契約金額 4,672,800円			
契約相手 (有)伊藤地質調査事務所			
●実施設計業務委託			
委託期間 R3. 7. 27～R4. 2. 25			
契約金額 52,800,000円			
契約相手 コスモス・工藤設計共同企業体			
令和4年度事業			
●建築主体工事			
工事期間 R4. 5. 27～R6. 2. 29			
契約金額 1,438,690,000円			
契約相手 山科建設・伊藤建友・三浦工務店特定建設工事共同企業体			
●機械設備工事			
工事期間 R4. 5. 27～R6. 2. 29			
契約金額 305,800,000円			
契約相手 加藤施設・本荘設備特定建設工事共同企業体			

●電気設備工事

工事期間 R 4 . 5 . 2 7 ~ R 6 . 2 . 2 9

契約金額 1 9 7 , 7 8 0 , 0 0 0 円

契約相手 羽後電設・ライトン特定建設工事共同企業体

●監理業務委託

委託期間 R 4 . 5 . 2 7 ~ R 6 . 3 . 2 9

契約金額 3 6 , 8 5 0 , 0 0 0 円

契約相手 コスモス・工藤設計共同企業体

令和5年度事業

●建築主体工事 ※継続

工事期間 R 4 . 5 . 2 7 ~ R 6 . 3 . 2 9

契約金額 1 , 6 2 6 , 7 1 3 , 0 0 0 円

契約相手 山科建設・伊藤建友・三浦工務店特定建設工事共同企業体

●機械設備工事 ※継続

工事期間 R 4 . 5 . 2 7 ~ R 6 . 2 . 2 9

契約金額 3 0 5 , 8 0 0 , 0 0 0 円

契約相手 加藤施設・本荘設備特定建設工事共同企業体

●電気設備工事 ※継続

工事期間 R 4 . 5 . 2 7 ~ R 6 . 2 . 2 9

契約金額 1 9 9 , 9 0 9 , 6 0 0 円

契約相手 羽後電設・ライトン特定建設工事共同企業体

●監理業務委託 ※継続

委託期間 R 4 . 5 . 2 7 ~ R 6 . 3 . 2 9

契約金額 3 6 , 8 5 0 , 0 0 0 円

契約相手 コスモス・工藤設計共同企業体

●管理用備品購入

購入内容 職員用机・イス、カーテン類、書庫 他

契約金額 2 5 , 5 7 0 , 6 0 0 円

契約相手 (株)スダキ商事、(株)あおい装飾、(有)スポーツショップヨシダ

点 検 評 価 及 び 説 明	☐ 目標を上回る	☒ ほぼ目標どおり		
	☐ 目標をやや下まわる	☐ 目標を大幅に下まわる		
○矢島中高連携校の敷地内に建設となるため、施工業者、監理業者と連絡調整を図りながら、現場はもとより生徒や職員の安全管理の徹底に努めた。 ○通常の学校運営を行っている中での工事となるため、工事中の安全対策や騒音対策をはじめ、駐車場や除雪の代替スペースの確保など工事による制限を必要最小限に留めるよう綿密な計画を立て、中高生が安全安心して学校生活を送ることができるよう配慮に努めた。 ○学校や矢島教育学習課と綿密な打合せを行い、保護者の協力も得ながら旧校舎からの引越作業をスムーズに実施することができた。				
<table border="1"> <tr> <td>今後の課題及び改善策・方向性</td> <td> ○来年度はすみやかに竣工式や見学会を行うとともに、適宜学校と連絡をとりながら新しい校舎での学校運営に支障のないよう支援や協力に努めたい。 ○今回の工事での経験やノウハウを来年度発注予定の「本荘東小学校建設工事」に活かしながら、来年度も計画的に学校施設の整備を進める必要がある。 </td> </tr> </table>			今後の課題及び改善策・方向性	○来年度はすみやかに竣工式や見学会を行うとともに、適宜学校と連絡をとりながら新しい校舎での学校運営に支障のないよう支援や協力に努めたい。 ○今回の工事での経験やノウハウを来年度発注予定の「本荘東小学校建設工事」に活かしながら、来年度も計画的に学校施設の整備を進める必要がある。
今後の課題及び改善策・方向性	○来年度はすみやかに竣工式や見学会を行うとともに、適宜学校と連絡をとりながら新しい校舎での学校運営に支障のないよう支援や協力に努めたい。 ○今回の工事での経験やノウハウを来年度発注予定の「本荘東小学校建設工事」に活かしながら、来年度も計画的に学校施設の整備を進める必要がある。			
<table border="1"> <tr> <td>学識経験者の意見</td> <td> ・安全に配慮しながら無事工事を終えたことに感謝したい。今後の本荘東小学校の建設工事にも参考になると思う。 ・中学校の美術の先生に話を聞く機会があったが、小学校と高校の授業も担当していると、生き生きと話していた。一体型校舎であることにより専門性を生かしたここならではの取り組みがなされている。他にも250mの廊下もある。ここのメリットを活かしながら、特徴ある学校づくりを期待したい。 ・小中高連携した取り組みを行いながら、矢島小学校の子ども達が矢島高校に行きたいと思ってくれるようになることを期待したい。 </td> </tr> </table>			学識経験者の意見	・安全に配慮しながら無事工事を終えたことに感謝したい。今後の本荘東小学校の建設工事にも参考になると思う。 ・中学校の美術の先生に話を聞く機会があったが、小学校と高校の授業も担当していると、生き生きと話していた。一体型校舎であることにより専門性を生かしたここならではの取り組みがなされている。他にも250mの廊下もある。ここのメリットを活かしながら、特徴ある学校づくりを期待したい。 ・小中高連携した取り組みを行いながら、矢島小学校の子ども達が矢島高校に行きたいと思ってくれるようになることを期待したい。
学識経験者の意見	・安全に配慮しながら無事工事を終えたことに感謝したい。今後の本荘東小学校の建設工事にも参考になると思う。 ・中学校の美術の先生に話を聞く機会があったが、小学校と高校の授業も担当していると、生き生きと話していた。一体型校舎であることにより専門性を生かしたここならではの取り組みがなされている。他にも250mの廊下もある。ここのメリットを活かしながら、特徴ある学校づくりを期待したい。 ・小中高連携した取り組みを行いながら、矢島小学校の子ども達が矢島高校に行きたいと思ってくれるようになることを期待したい。			